

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 015	提案機関名 全農神奈川県本部
要望問題名 イチゴ‘かなこまち’の品質の安定化に向けた栽培方法の確立や栽培指導	
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 神奈川県育成品種イチゴ‘かなこまち’の栽培収穫が本格的に開始し2年が経過した。消費者の認知度やニーズも徐々に高まってきており、JA直売場でも品薄の状態となっている。一方で、‘かなこまち’は、栽培環境により他品種に比べ奇形果の発生が多くなる等の安定した品質の生産が難しい、という生産者の意見もある。 今後、生産の普及やブランド力の向上には、一定の品質基準を保つ‘かなこまち’を生産するには生産者の高い技術が必要であると考え、品質の安定化に向けた栽培方法の確立や栽培指導を依頼したい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) II 2 (1) 主要作物の高品質・安定生産技術の開発 イ イチゴ‘かなこまち’の安定生産技術・環境制御技術の開発		
対応の内容等	上記試験研究課題の中で、‘かなこまち’は栽培条件によって、下葉の黄化が早い、果形が細くなる(仮称：細長果)などの生理障害が発生することがわかってきました。そこで、灌水量等の栽培条件や地下部の生育状況(根量、根域)と生理障害の発生との関係について試験を行っています。次年度も引き続き栽培技術を確立するための試験を実施します。また、試験研究結果については、普及指導部署に情報提供し、普及指導員を通じて栽培指導を行います。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			